

# SkyVisualEditorオンラインセミナー

## ～第5回 基本編～

# Salesforceで 見積作成画面を作成しよう

2014年9月16日（火）

株式会社 **テラスカイ**

The logo for TerraSky, featuring the word "TerraSky" in a blue serif font with a red dot over the "i" in "Sky". A blue arc is positioned below the text, starting under "Terra" and ending under "Sky".

## 本セミナーの目的

SkyVisualEditorの機能および設定方法の紹介を目的としています。

## 本日のセミナーのご対象者

- Salesforceで見積画面を作成したいとご検討中のご担当者様
- SkyVisualEditorの「Salesforceレイアウト」の設定にお困りのご担当者様

## 本セミナーのゴール

SkyVisualEditorの「Salesforceレイアウト」を使い、画面の作成方法を理解する。

※ SkyVisualEditorの製品概要については以下をご覧ください。

(<http://info.skyvisualeditor.com/>)

※ 過去のオンラインセミナーの資料は以下よりご覧ください。

(<http://www.terrasky.co.jp/document/skyvisualeditor/>)

# SkyVisualEditorのコンテンツについて

SkyVisualEditorの設定ガイドやTipsなどのコンテンツをWebで公開しています。  
是非、ご活用ください。

(<http://info.skyvisualeditor.com/developer/beginner/>)

 **導入編**

**SkyVisualEditorを使って、Salesforceをより効果的に活用しよう。**

**Step1 : 導入しよう**

これからSkyVisualEditorを利用し始める方に。

- 全操作方法が記載されたマニュアル → [操作マニュアル](#)
- 基本的な操作方法をご紹介する動画 → [画面開発手順](#)
- はじめてSkyVisualEditorを利用される方は、このスタートアップガイドをご覧ください → [スタートアップガイド](#)

**Step2 : 定着化をはかろう**

多くのSkyVisualEditorユーザーが活用している画面の作成方法をまとめました。

- [検索画面を作成しよう](#)
- [使いやすいワークフロー画面を作成しよう](#)

**Step3 : もっと活用しよう**

こんな使い方があったんだ！という、SkyVisualEditorの一步進んだ利用方法をお伝えします。

- [SkyVisualEditorの便利な機能 その1](#)

## 1. 本日の完成イメージ

## 2. 見積作成画面の作成方法

## 3. 作成した画面をつかってみよう

※ 本セミナーの詳細な内容は以下操作マニュアルをご覧ください。

([https://www.skyvisualeditor.com/help/skyvisualeditor\\_help.pdf](https://www.skyvisualeditor.com/help/skyvisualeditor_help.pdf))

※ 当資料のロゴや設定画面はSalesforceのバージョンアップによって変更する可能性があります。

**1. 本日の完成イメージ**

2. 見積作成画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

# 本日の完成イメージ

ホーム Chatter リード 取引先 取引先責任者 商談検索 商談 **販売見積** 申請 レポート ダッシュボード +

販売見積  
製品Aに関する御見積

販売見積の編集

キャンセル 保存

▼ 基本情報

販売見積名 製品Aに関する御見積 状況 ドラフト 見積番号 TQ-0001  
見積日 [ 2014/09/13 ] クロージ理由 --なし-- 商談名 テラスカイ-アイリス

## POINT①

列を3列、4列…と自由に追加できます

## POINT②

画面内にタブエリアを配置し、縦スクロールを抑えた画面をつくれます

見積条件 見積明細

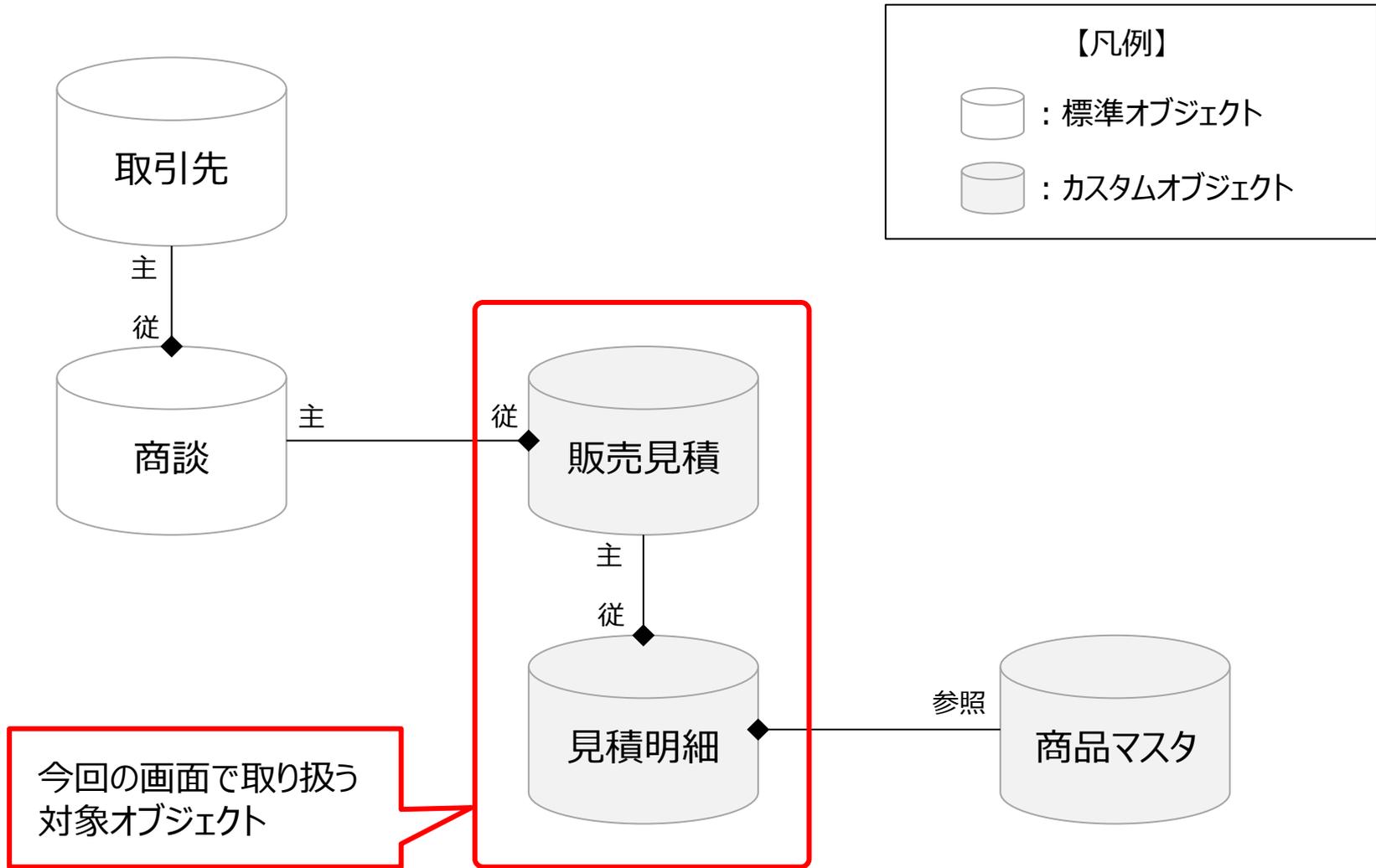
行追加 コピー 1/1 10 件数:3

明細順	No.	商品名	商品コード	販売単価	数量	単位	販売金額	原価	原価金額	在庫	粗利額	粗利率
<input type="checkbox"/> 行削除		製品A	P-1000	¥100,000	3	台	300,000	¥50,000	150,000	50	150,000	0.5
<input type="checkbox"/> 行削除						--なし--						
<input type="checkbox"/> 行削除						--なし--						

## POINT③

見積ヘッダ情報と、見積明細情報を一括で入力できます

# 本日の作成する画面のオブジェクト構成



# Salesforce標準画面の場合

カスタムオブジェクトの標準機能のみで見積画面を作成する場合、

- ・見積ヘッダを入力し保存
- ・明細を1レコードずる入力し保存

と、見積を1つ作成するにも**ステップが多くなってしまいます**

# Salesforceレイアウトとは

Salesforceレイアウトとは、Salesforceの標準画面に似たデザイン上に、Salesforceの標準では設定できないパーツや機能を自由に画面に配置できるレイアウトです。  
縦スクロールをなるべく抑えたい、子階層のオブジェクトのデータを一括で編集したい場合に非常に便利なレイアウトです。

取引先情報

取引先ID: TEST001 | 取引先名: 株式会社アスカイ

事業所数: 30 | 外資企業: 11 | 外国年商(百万円): 10

事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
八重洲事業所	103-0025	東京都中央区八重洲1-6-6	03-5255-3410	
丸の内事業所		東京都千代田区岩本町		
浅草橋事業所		東京都千代田区		

会社概要

従業員数: 500 | URL: http://www.terraskey.co.jp/

社員数: 計 800 | パート・区分: A | ESA-A人数: 24

販売促進スタッフ数: 100 | 年収: 2009 | ESA-AAA人数: 37 | ESA-AAA人数: 30

申請 TS-00001

申請

申請番号	TS-00001	申請部署	営業部
申請日	2014/07/08	申請者氏名	佐藤太郎
件名	商品購入について		

承認者	山田太郎	申請者	佐藤太郎
-----	------	-----	------

使用目的(購入理由): 業務ソフトウェアの年間保守について継続使用のため、申請いたします。  
なお、ライセンスの保守期間は1年短縮となります。

利用期間(該当あれば)	2014/08/01 ~ 2015/07/31
購入先(発注先)	株式会社セールスフォース・ドットコム
購入予定日	2014/07/21
支払予定日	2014/07/31
仮払申請の有無	有
支払方法	その他 代金引換

小計	¥75,000	消費税	¥3,750	合計	¥78,750
----	---------	-----	--------	----	---------

品名	仕様・品番等	単価	数量	単位	金額
業務用ソフトウェア保守料金	Windows対応	¥75,000	1	式	¥75,000

承認履歴

アクション	日付	状況	審判当先	承認者	コメント	すべての状況
ステップ承認	2014/07/08 10:32	承認済み	山田太郎	山田太郎	OK	承認済み
承認申請が提出されました	2014/07/08 10:30	申請済み	佐藤太郎	佐藤太郎		

1. 本日の完成イメージ

2. 見積作成画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

以下は、SkyVisualEditorでSalesforceレイアウト画面を作成する際の流れです。  
本日は以下手順に沿って、Salesforceレイアウトを使った見積作成画面の作成方法をご紹介します。

1. オブジェクトの選択



2. 項目・コンポーネントの配置



3. 項目・コンポーネントの詳細設定



4. 作成した画面のデプロイ



5. デプロイ後のSalesforce側の設定

1. オブジェクトの選択



2. 項目・コンポーネントの配置



3. 項目・コンポーネントの詳細設定



4. 作成した画面のデプロイ



5. デプロイ後のSalesforce側の設定

# 1. オブジェクト（テーブル）の選択

SkyVisualEditorスタジオへのログイン後、メニューエリアの[ファイル]-[新規]をクリックし、レイアウトマネージャより、[Salesforceレイアウト]を選択します。  
レイアウトを作成したいオブジェクトを選び、必要に応じてVisualforceページ名を設定し、[OK]をクリックします。今回は、[販売見積]というカスタムオブジェクトを選びます。



※ SkyVisualEditorスタジオへのログイン方法は、以下をご覧ください。  
(<http://www.terraSky.co.jp/document/download/skyvisualeditor-web1.php>)

1. オブジェクトの選択



2. 項目・コンポーネントの配置



3. 項目・コンポーネントの詳細設定



4. 作成した画面のデプロイ

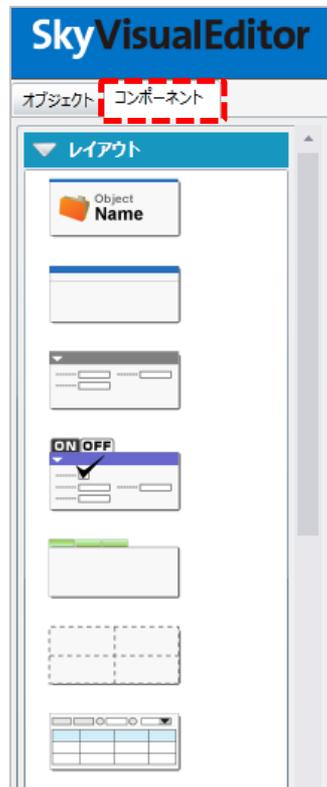


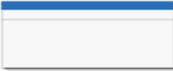
5. デプロイ後のSalesforce側の設定

# [参考] 今回使用するコンポーネントについて

オブジェクトを選択しますと、画面をデザインするキャンバスが表示されます。  
表示された画面の左側に、[オブジェクト]と[コンポーネント]というタブがあります。  
今回、コンポーネントとして使用するレイアウトの機能を以下でご紹介します。

## ▼ コンポーネントペイン

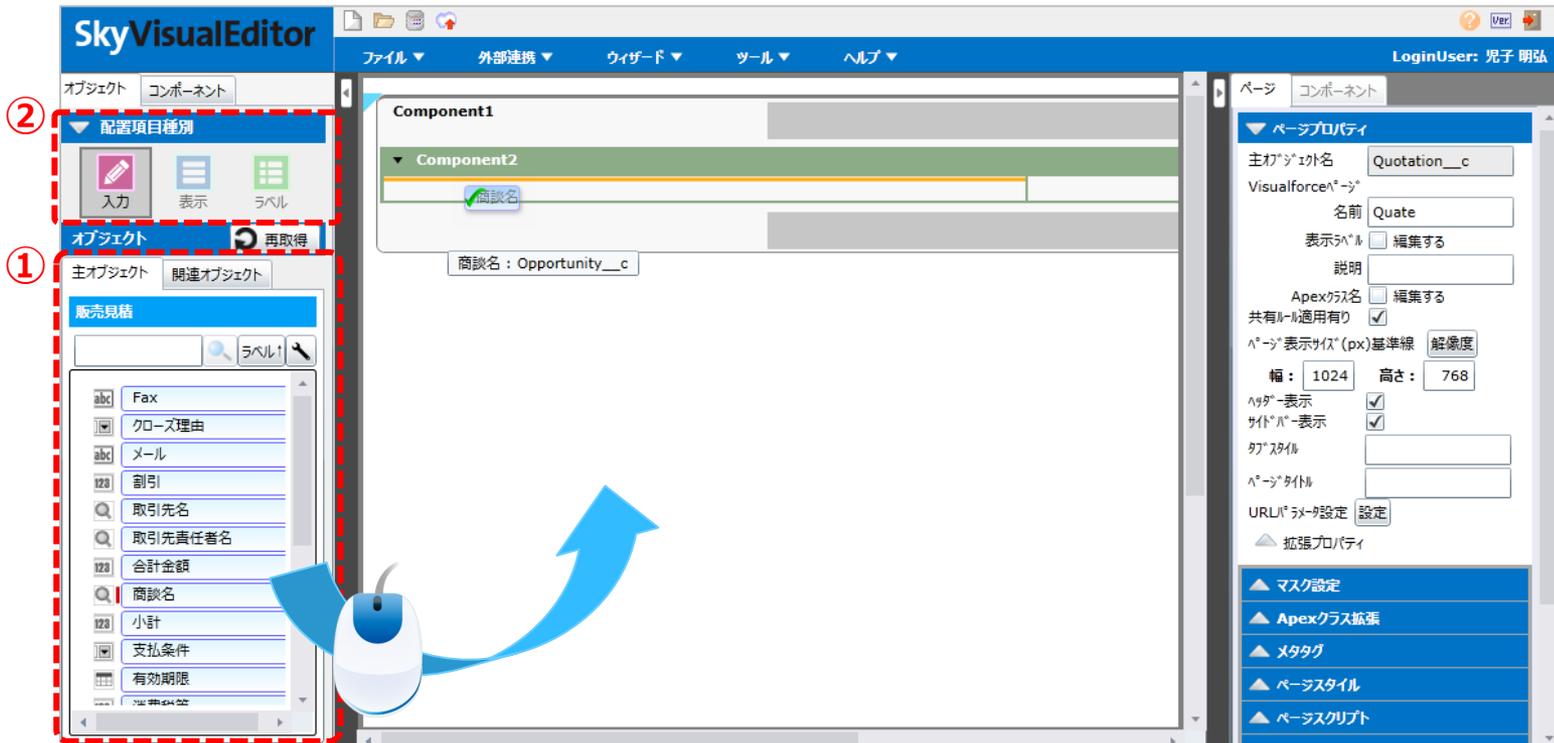


No.	レイアウト名	名前	説明
1	セクション ヘッダー		Salesforceの標準ページレイアウトで使用されている画面タイトルを表示できます。
2	ページブロック		Salesforceの標準ページレイアウトで使用されているページの外枠を定義する機能です。
3	ページブロック セクション		Salesforceの標準ページレイアウトで使用されているセクション機能です。項目を配置する際に利用します。
4	タブ		タブによる表示項目の切り替えができる機能です。なるべくスクロールをしたくない場合に利用します。
5	データテーブル		明細形式で項目を配置できる機能です。子オブジェクトの入力/編集時に便利な機能です。
6	関連リスト		Salesforceの標準ページレイアウトで使用されている関連リストを配置できる機能です。
7	Chatter フィード		Salesforceの標準ページレイアウトで使用されているChatterフィードを表示する機能です。

## 2. 項目・コンポーネントの配置

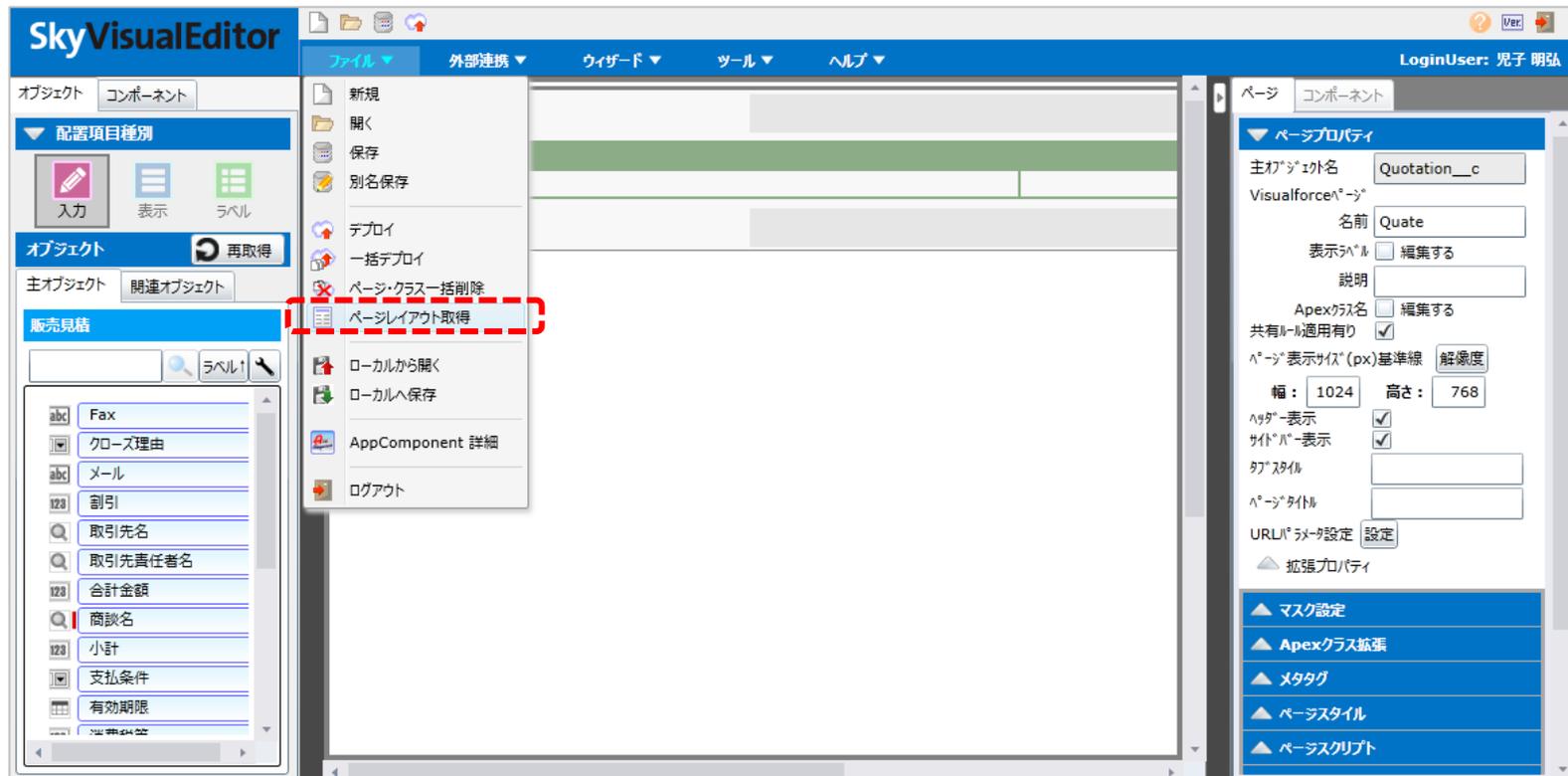
画面左部の①のエリアに、選択したオブジェクトの項目一覧が表示されてますので、ドラッグ & ドロップによる操作で、項目を配置します。

②のエリアの[入力][表示][ラベル]を切り替えることで、入力フィールド、参照フィールド、項目ラベルをそれぞれ配置できます。



# [参考] Salesforce標準ページレイアウトの取得

SkyVisualEditorでは、レイアウトを選択し、一から画面を作成するだけでなく、Salesforceの標準ページレイアウトを取得することが可能です。  
 メニューエリアの[ファイル]-[ページレイアウト取得]をクリックすると、ダイアログが表示されますので、該当のレコードタイプを選択し、ページを読み込むことができます。



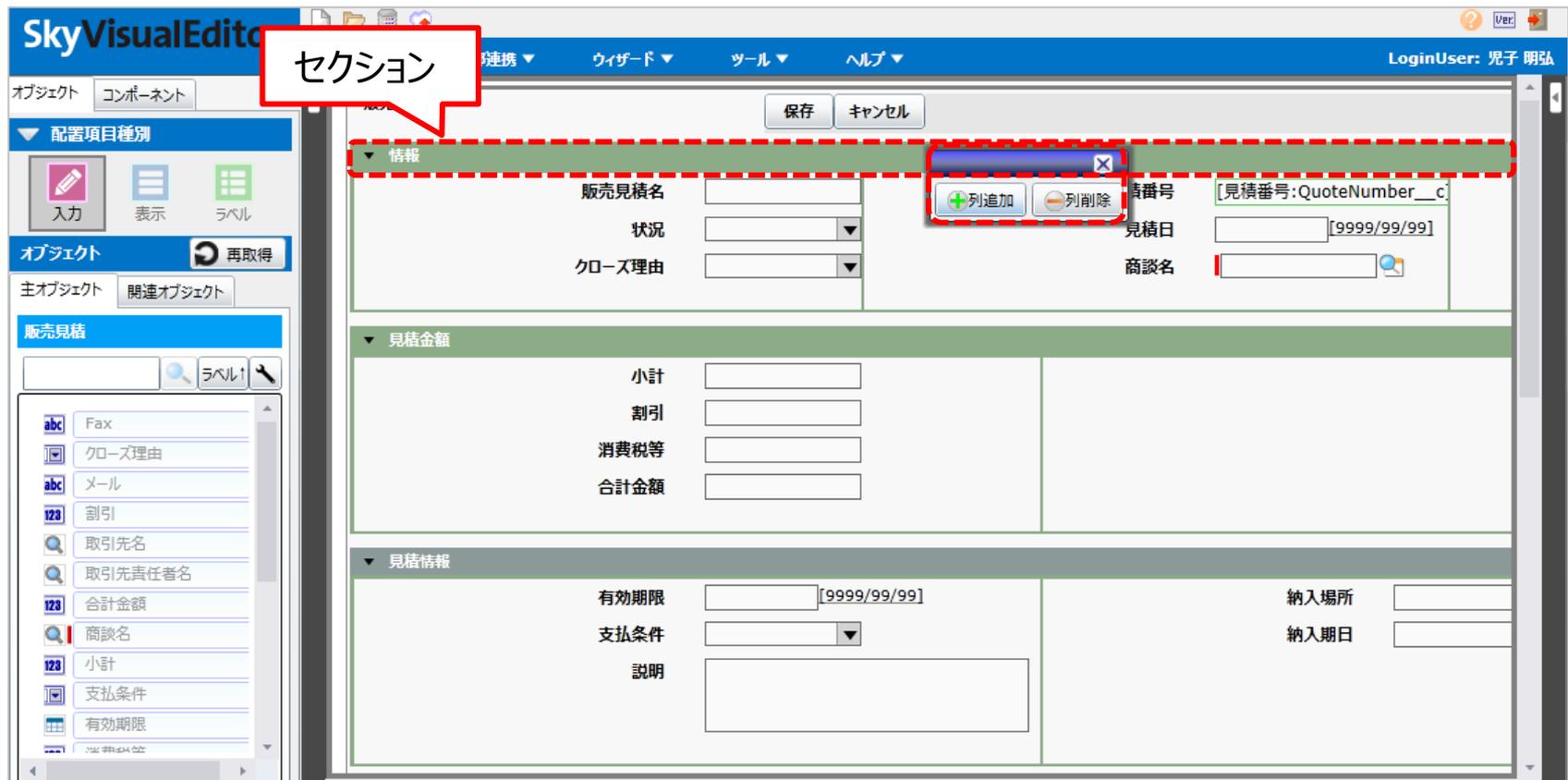
# [参考] Salesforce標準ページレイアウトの取得

Salesforceで設定している標準のページレイアウトを読み込むことができました。  
Salesforceの標準ページレイアウトを取得した場合、画面右のページ名がデフォルトのページ名になりますので、適宜ご変更ください。

The screenshot shows the Sky Visual Editor interface for editing a quote page layout. The main area contains a form with sections for '情報' (Information), '見積金額' (Quote Amount), '見積情報' (Quote Information), and '取引先情報' (Customer Information). The right-hand sidebar shows the 'ページプロパティ' (Page Properties) section, where the '名前' (Name) field is highlighted with a red dashed box and a red callout box. The callout box contains the text: 'ページ名がデフォルトのページ名に変わります' (The page name will change to the default page name).

## 2. 項目・コンポーネントの配置（列の追加）

ページを取得できましたので、いよいよ画面のカスタマイズをしていきます。  
 セクションをクリックしますと[列追加][列削除]というポップアップが表示されますので、[列追加]をクリックし、追加された列に項目をドラッグ&ドロップし、レイアウトを整えます。



## 2. 項目・コンポーネントの配置（セクションヘッダーの配置）

次に、セクションヘッダーを配置します。

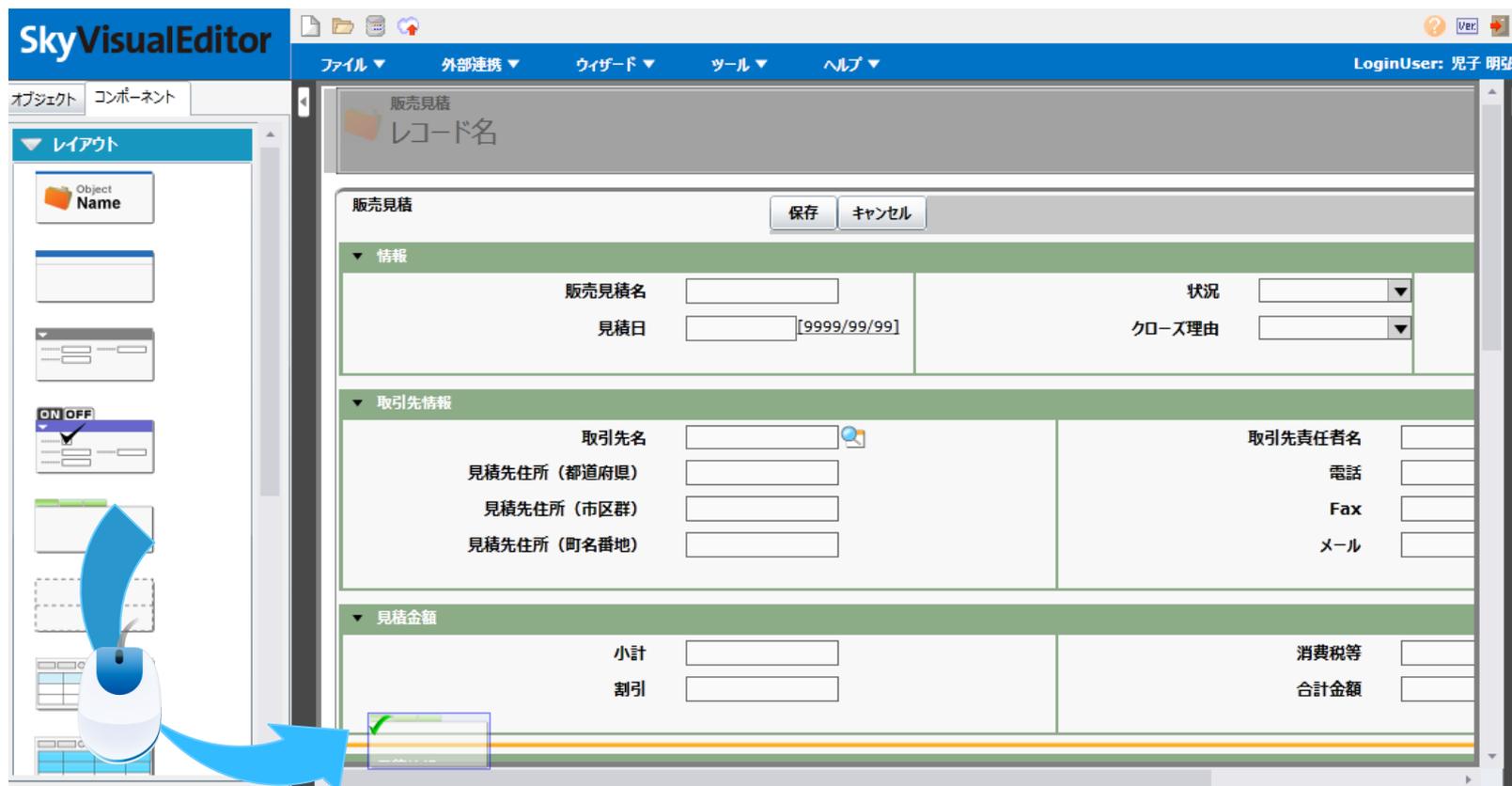
画面左側のコンポーネントペインより、セクションヘッダーのアイコンをドラッグ & ドロップによりキャンバス上に配置します。

The screenshot displays the SkyVisualEditor interface. On the left, a 'レイアウト' (Layout) panel contains various UI components. A mouse cursor is shown dragging a 'セクションヘッダー' (Section Header) component from the layout panel to the main canvas. The canvas shows a form titled '販売見積' (Sales Estimate) with a 'Object Name' field at the top. Below the title bar, there are input fields for '販売見積名' (Sales Estimate Name), '見積日' (Estimate Date) with a date picker set to [9999/99/99], '状況' (Status) dropdown, and 'クローズ理由' (Close Reason) dropdown. The form is divided into sections: '見積金額' (Estimate Amount) with fields for '小計' (Subtotal), '割引' (Discount), '消費税等' (Consumption Tax, etc.), and '合計金額' (Total Amount); and '見積情報' (Estimate Information) with fields for '有効期限' (Valid Period) with a date picker [9999/99/99], '支払条件' (Payment Terms) dropdown, '納入場所' (Billing Address), '納入期日' (Billing Date), and a '説明' (Description) text area. The top menu bar includes 'ファイル', '外部連携', 'ウィザード', 'ツール', and 'ヘルプ'. The top right corner shows 'LoginUser: 兒子 明弘'.

## 2. 項目・コンポーネントの配置（タブの配置）

次に、画面にタブを配置します。

画面左側のコンポーネントペインより、タブのアイコンをドラッグ & ドロップによりキャンバス上に配置します。



## 2. 項目・コンポーネントの配置（ページブロックの配置）

配置したタブの中にページブロックを配置します。

ページブロックを配置することで、その中にページブロックセクションを配置できるようになります。画面左側のコンポーネントペインより、ページブロックのアイコンをドラッグ&ドロップによりキャンバス上に配置します。

The screenshot displays the Sky Visual Editor interface. The main canvas shows a form layout with a tabbed interface. The tabs are labeled 'tab1', 'tab2', and 'tab3'. The 'tab1' tab is active and contains a form with the following fields:

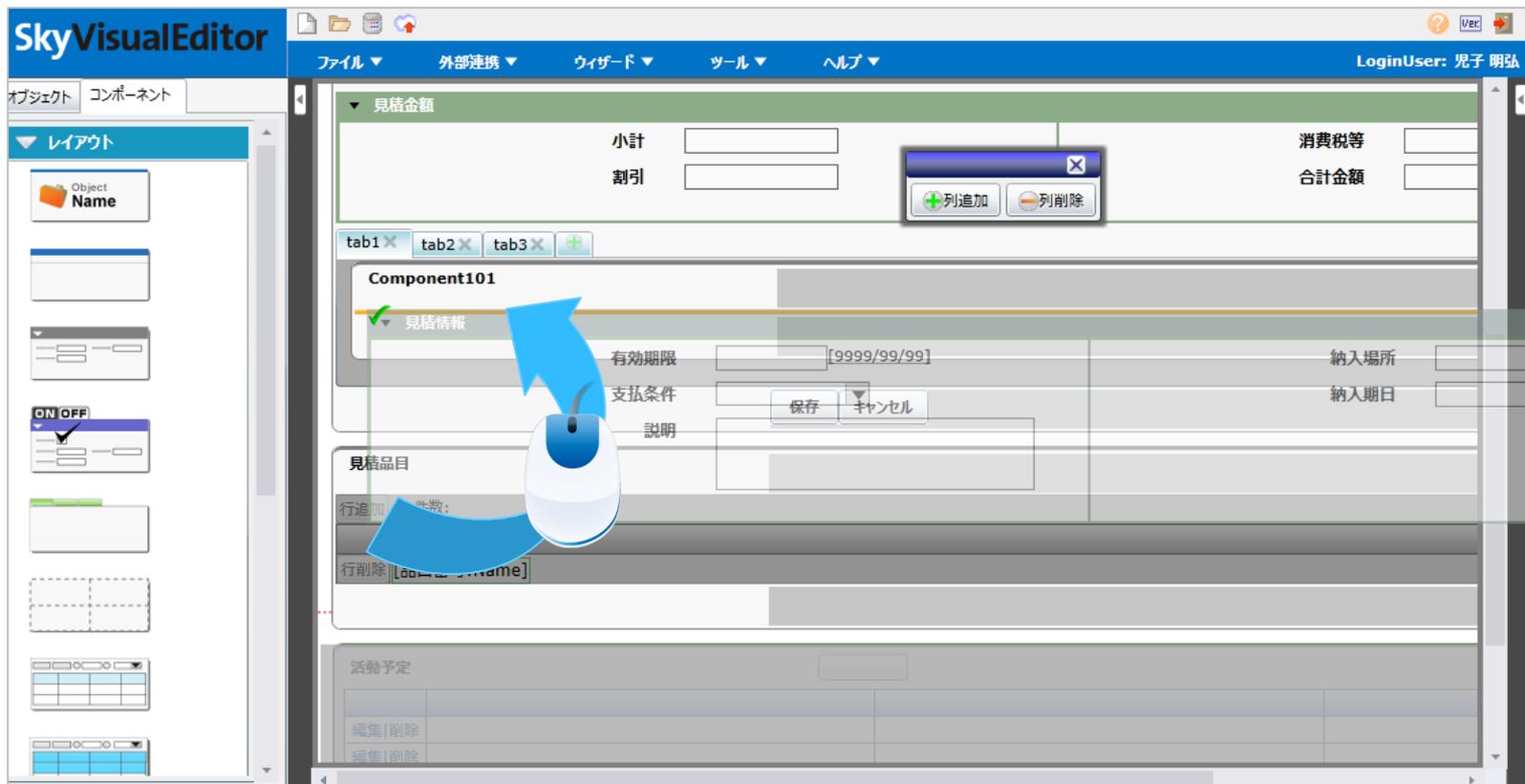
- 見届金額 (Viewed Amount) section:
  - 小計 (Subtotal) [input field]
  - 割引 (Discount) [input field]
  - 消費税等 (Consumption Tax, etc.) [input field]
  - 合計金額 (Total Amount) [input field]
- 特記 (Remarks) section:
  - 有効期限 (Valid Period) [input field] [9999/99/99]
  - 支払条件 (Payment Conditions) [dropdown menu]
  - 納入場所 (Payment Location) [input field]
  - 納入期日 (Payment Date) [input field]
  - 説明 (Description) [text area]

At the bottom of the form, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Below the form is a '見積品目' (Estimate Item) section with a table for adding and deleting items.

The left sidebar shows the 'レイアウト' (Layout) component palette, which includes various UI elements like text boxes, buttons, and form fields. A blue mouse cursor is shown dragging a component from the palette to the 'tab1' tab in the main canvas.

## 2. 項目・コンポーネントの配置 (ページブロックセクションの配置)

先ほど配置したタブ内のページブロックの中にページブロックセクションを配置します。  
今回は見積情報をまとめたページブロックセクションを選択し、ドラッグ & ドロップの操作で配置したいタブ内のページブロック内に選択したページブロックセクションを配置します。



## 2. 項目・コンポーネントの配置（データテーブルの配置）

次に、タブコンポーネントのtab2のタブをクリックしてタブを切り替えます。  
P.22で設定したページブロックをtab2の中に配置し、その中にデータテーブルを配置します。  
データテーブルを配置すると、右下のテーブル設定のダイアログが表示されますので、表示させたいオブジェクトを選択し、その他プロパティを選択し、[OK]をクリックします。

The screenshot shows the SkyVisualEditor interface. On the left, the 'レイアウト' (Layout) panel contains various components, with 'データテーブル' (Data Table) highlighted. A blue arrow points from this component to a table placed within a 'Component93' container in the main workspace. The table is currently empty. To the right, the 'テーブル設定' (Table Settings) dialog is open. It has two main sections: '基本設定' (Basic Settings) and '表示機能設定' (Display Function Settings). In the '基本設定' section, '主オブジェクトとの関連' (Association with main object) is set to '関連する' (Associated), and 'オブジェクト' (Object) is set to 'ToDo:Task'. In the '表示機能設定' section, '行追加ボタン' (Add row button), '行削除ボタン' (Delete row button), and '必須項目解除' (Clear required items) are checked. A red arrow points from the 'OK' button in the dialog back to the table in the workspace.

**基本設定**

- 主オブジェクトとの関連:  関連する  関連しない
- オブジェクト:
- 列数:
- 全て表示

**表示機能設定**

- 行追加ボタン:
- 行削除ボタン:
- 行コピーボタン:
- 一括編集:  テーブル内の項目必須設定を全て解除します。解除しない場合、必須項目に値未入力の際に各処理ボタンを押下すると値未入力エラーが発生します。
- 選択削除:
- 必須項目解除:
- ページング:

Buttons:

## 2. 項目・コンポーネントの配置 (データテーブルの配置)

配置したデータテーブルに項目を配置します。

まず画面左側の①[オブジェクト]タブを選択し、②の[配置項目種別]を入力項目/表示項目を選びます。次に、③の[オブジェクト]セクションより[関連オブジェクト]のタブを選択し、④のプルダウン項目から対象のオブジェクトを選択します。最後に⑤の項目一覧より、データテーブルのヘッダへ項目をドラッグ&ドロップします。これで、親子階層のレコードを同時に編集する画面ができます。

The screenshot shows the SkyVisualEditor interface. The left sidebar contains the following elements:

- ① オブジェクト (Object) tab selected
- ② 配置項目種別 (Configuration Item Type) section with buttons for 入力 (Input), 表示 (Display), and ラベル (Label)
- ③ オブジェクト (Object) section with a sub-tab for 関連オブジェクト (Related Object)
- ④ 見積品目: Quote\_line\_\_c (Quote Item: Quote\_line\_\_c) dropdown menu
- ⑤ 項目一覧 (Item List) showing various items like 品目説明, 商品コード, 商品名, 在庫, 定価, 数量, 明細順, 粗利率, 粗利額, 販売単価, 販売見積, and 販売金額.

The main workspace shows a data table with the following structure:

見積先住所 (都道府県)	見積先住所 (市区群)	見積先住所 (町名番地)	電話	Fax	メール
見積金額					
小計			消費税等		
割引			合計金額		

Below the table, there is a 'Component93' section with a table for '行追加' (Add Row) and '行削除' (Delete Row). The '行追加' table has a header '件数:' and a row with a green checkmark and the text '販売見積'. A mouse cursor is shown dragging the '販売見積' item from the list to the table header.

1. オブジェクトの選択



2. 項目・コンポーネントの配置



3. 項目・コンポーネントの詳細設定



4. 作成した画面のデプロイ



5. デプロイ後のSalesforce側の設定

※ 項目・コンポーネントの詳細設定は、以下の資料もご参考になさってください。

(<http://www.terraSky.co.jp/document/download/skyvisualeditor-3.php>)

### 3. 項目・コンポーネントの詳細設定（タブの設定）

配置したタブの色を選択できます。

画面に配置したタブのコンポーネントを選択しますと、画面右側にタブのプロパティが表示されます。

その中の[テーマ]より、色をBlue、Green、Gray、Orangeを選択できます。

また、カスタムを選択すると、選択されたタブとそれ以外のタブの色を分けて設定できます。

ID	ComponentS3
表示条件	...
タブ	見積条件
テーマ	カスタム
アクティブ'タブ'色	#FF9900
非アクティブ'タブ'色	#FFCC99
スタイル	...

### 3. 項目・コンポーネントの詳細設定（マスク設定）

SkyVisualEditorでは、[保存]や[削除]ボタンや、データテーブルの[行追加]などの各ボタンをクリックした際に、各入力項目の入力や他のボタンのクリックができないようになります。マスクをする範囲は、[入力欄・ボタン]もしくは[ページ全体]から選択できます。設定は、画面右側の[ページ]タブ内の[マスク設定]のセクションにフラグを立てるだけで完了です。

The screenshot shows the SkyVisualEditor interface. The main workspace contains a form with the following sections:

- 顧客情報** (Customer Information):
  - 取引先名 (Customer Name): [ ]
  - 見積先住所 (都道府県) (Estimate address (Prefecture)): [見積先住所 (都道府県) :State\_\_c]
  - 見積先住所 (市区群) (Estimate address (City/Zone)): [見積先住所 (市区群) :City\_\_c]
  - 見積先住所 (町名番地) (Estimate address (Town/Postcode)): [見積先住所 (町名番地) :Street\_\_c]
- 見積情報** (Quotation Information):
  - 小計 (Subtotal): [ ]
  - 割引 (Discount): [ ]
- 見積条件** (Quotation Conditions):
  - 有効期限 (Validity Period): [ ] [9999/99/99]
  - 支払条件 (Payment Terms): [ ]
  - 納入場所 (Delivery Location): [ ]
  - 納入期日 (Delivery Date): [ ]
  - 前提条件 (Conditions): [ ]

The right-hand panel shows the settings for the selected component:

- ページ** (Page) tab is selected (marked with 1).
- Component Name: Quotation\_\_c
- Visualforce Name: Quote
- 名前 (Name): Quote
- 表示スタイル (Display Style):  編集する (Edit)
- 説明 (Description): 販売見積画面 (入力画面) (Sales Estimate Screen (Input Screen))
- Apexクラス名 (Apex Class Name):  編集する (Edit)
- 共有ルール適用有り (Apply Shared Rules):
- ページ表示サイズ (px) 基準線 (Page Display Size (px) Baseline):
  - 幅 (Width): 1024
  - 高さ (Height): 768
- ヘッダー表示 (Header Display):
- サイトバー表示 (Site Bar Display):
- タグスタイル (Tag Style): [ ]
- ページタイトル (Page Title): 販売見積の編集: {!record.name}
- URLパラメータ設定 (URL Parameter Setting): [設定] (Settings)
- 拡張プロパティ (Extended Properties): [ ]
- マスク設定** (Mask Setting) section (marked with 2):
  - ページマスク有効化 (Page Mask Effective)
  - 入力欄、ボタン (Input Field, Button)
  - ページ全体 (Page All)

### 3. 項目・コンポーネントの詳細設定（計算式）

Salesforce標準の数式項目は、データを保存する際に計算処理が行われますが、SkyVisualEditorが提供する[計算式]の機能は、入力項目に値を入力し、カーソルアウトした時点で計算が処理されます。今回のテーマの見積作成のように複数のデータを編集しながら合計金額などを把握したい際に便利です。設定方法は、画面右側の[ページ]タブ内の[計算式]のセクションより、[計算式の有効化]チェックボックスをONにし、[計算式の編集]ボタンをクリックします。計算式エディタのダイアログが表示されますので、四則演算や合計計算の処理を設定します。

主オブジェクト計算式			
計算式は50個まで設定できます			
▼ 集計計算式			
計算式は20個まで設定できます			
追加	オブジェクト	計算式	
	Component75 見積品目	\$SUM([Selling_price__c])	
削除	販売見積	= 小計	<input checked="" type="checkbox"/> 桁区切り 小数点以下 1 桁を 四捨五入
▼ 関連オブジェクト計算式			
計算式は20個まで設定できます			
追加	オブジェクト	計算式	
	Component75 見積品目	[UnitPrice__c] * [Quantity__c]	
削除	販売見積	= 販売金額	<input checked="" type="checkbox"/> 桁区切り 小数点以下 1 桁を 四捨五入
	Component75 見積品目	[Purchase_price__c] * [Quantity__c]	
削除	販売見積	= 原価金額	<input checked="" type="checkbox"/> 桁区切り 小数点以下 1 桁を 四捨五入
	Component75 見積品目	[Selling_price__c] - [Purchase_price_subtotal__c]	

※ 詳細な設定方法に関しては、[操作マニュアル](#)をご覧ください。

### 3. 項目・コンポーネントの詳細設定（ルックアップ取得）

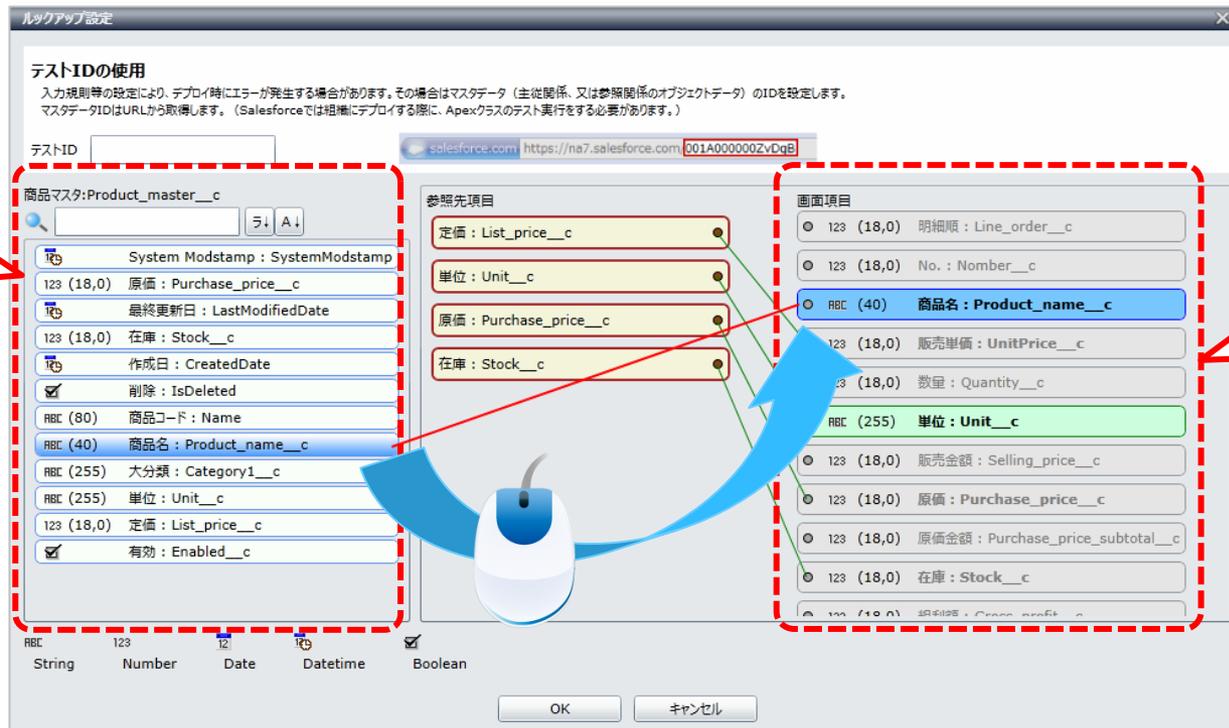
Salesforceの標準のルックアップ項目（虫眼鏡の項目）は、参照先のオブジェクトからデータを取得する際、参照先のID（Name）項目のみを取得します。

SkyVisualEditorでは、ID項目だけでなく参照先オブジェクトの他の項目値を同時に取得できるので、例えば、商品コードを取得した際に、それに紐づくリスト価格や商品名を同時に画面に表示できます。設定方法は、ルックアップ取得の設定をしたい項目を選択し、画面右側の[コンポーネント]内の[ルックアップ取得]より、[ルックアップ]の設定ボタンをクリックします。

The screenshot shows the SkyVisualEditor interface. The main window displays a form with customer and order details. A table at the bottom shows a list of items with columns for '商品コード' (Product Code) and '販売単価' (Sales Price). A red dashed box labeled '1' highlights the '商品コード' column. On the right, the 'inputField' component configuration panel is open, showing a list of components. A red dashed box labeled '2' highlights the 'ルックアップ取得' (Lookup) component, which has a green checkmark and a red dashed box around its settings button.

### 3. 項目・コンポーネントの詳細設定（ルックアップ取得）

ルックアップの設定ボタンをクリックすると、[ルックアップ設定]のダイアログが表示されますので、画面左側の参照先オブジェクトの項目から、画面右側の参照元の該当する項目へドラッグ&ドロップによるマッピングし、[OK]ボタンをクリックすれば設定は完了です。なお、実際の運用時には、誤ってデータを処理させることを防ぐために、P.30で紹介した[ルックアップ取得]内の[読取専用]チェックボックスをONにしておくことを推奨します。



### 3. 項目・コンポーネントの詳細設定（Chatterフィード）

P.31までで、入力/編集画面ができれば、[メニュー]エリアの[ファイル]-[保存]よりページを保存します。  
 (Excelなどと同様、こまめに保存をすることを推奨します)

入力/編集画面を保存した後、[メニュー]エリアの[ツール]-[参照画面作成]より参照画面を作成し、  
 画面左側の[コンポーネント]タブより、Chatterフィードや関連リストを配置します。  
 Chatterフィードは配置後、右側のプロパティにてフィードの高さを指定できます。

The screenshot displays the Sky Visual Editor interface. The main workspace shows a 'Quote View' page with a 'Chatter Feed' component placed on the 'Sales Order' record. A blue arrow points from the 'Chatter Feed' component in the left-hand 'Component' palette to its instance on the page. Another blue arrow points from a mouse cursor to the 'Chatter Feed' component's settings in the right-hand 'Page Properties' panel.

**Page Properties Panel (Page Properties):**

- 主オブジェクト名: Quotation\_\_c
- Visualforceページ名: Quote\_view
- 名前: Quote\_view
- 表示スタイル:  編集する
- 説明: 販売見積画面 (参照画面)
- Apexクラス名:  編集する
- 共有URL適用有り:
- ページ表示サイズ(px)基準線: 解像度
- 幅: 1024 高さ: 768
- ページ表示:
- サイトバー表示:
- タグスタイル:
- ページタイトル: 販売見積: {!record.name}
- URLパラメータ設定:

**Component Properties Panel (Component Properties):**

- マスク設定
- Apexクラス拡張
- メタタグ
- ページスタイル
- ページスクリプト

1. オブジェクトの選択



2. 項目・コンポーネントの配置



3. 項目・コンポーネントの詳細設定



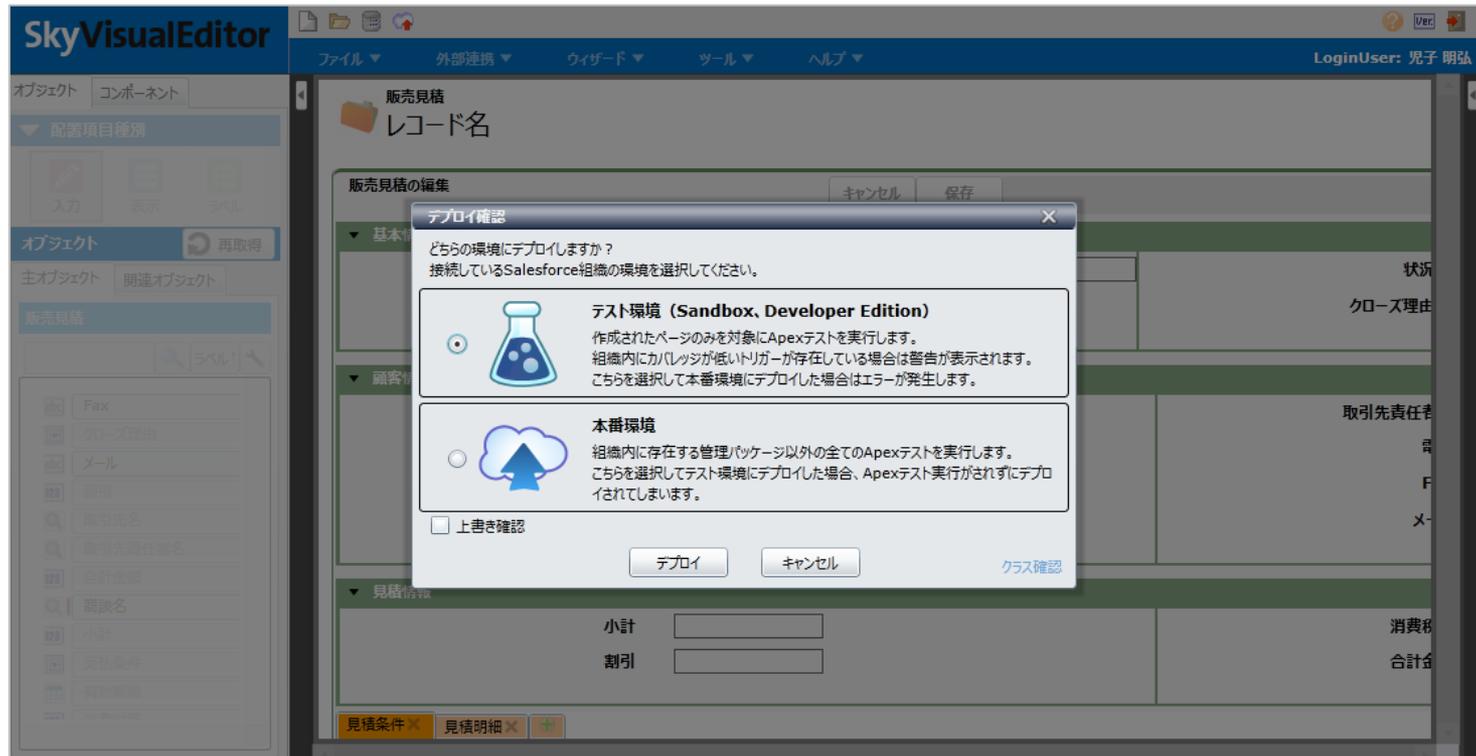
4. 作成した画面のデプロイ



5. デプロイ後のSalesforce側の設定

## 4. 作成した画面のデプロイ

メニューエリアの[ファイル]より、[デプロイ]をクリックします。  
Sandbox環境やDeveloper Editionに画面を生成する場合は[テスト環境]を、  
本番環境へ直接デプロイする場合は、[本番環境]を選択し、[デプロイ]をクリックします。



## 4. 作成した画面のデプロイ

デプロイが完了しますと、[ページを開く]というリンクが表示されますので、クリックします。  
Studioでデザインした画面を、Salesforceで確認できます。  
以上で、画面のデザインは完了です。



ホーム Chatter リード 取引先 取引先責任者 商談検索 商談 **販売見積** 申請 レポート ダッシュボード +

 販売見積

販売見積の編集

▼ 基本情報

販売見積名  状況  見積番号

見積日  クローズ理由  商談名

▼ 顧客情報

取引先名   取引先責任者名

見積先住所(都道府県)  電話

見積先住所(市区群)  Fax

見積先住所(町名番地)  メール

▼ 見積情報

小計  消費税等

割引  合計金額

**見積条件**

有効期限

支払条件

納入場所

納入期日

前提条件

1. オブジェクトの選択



2. 項目・コンポーネントの配置



3. 項目・コンポーネントの詳細設定



4. 作成した画面のデプロイ



5. デプロイ後のSalesforce側の設定

※ Salesforceでの画面遷移の設定方法については、以下リンクのp.16～p.28もご確認ください。  
(<http://www.terraskey.co.jp/document/download/skyvisualeditor-vol4.php>)

## 6. デプロイ後のSalesforceの設定 (Visualforceページアクセス/Apexクラスの有効化)

SkyVisualEditorで作成したページは、Salesforceで画面を利用するプロフィール毎にVisualforceページ/Apexクラスのアクセスを有効化する必要があります。

Salesforceのユーザメニューより、[設定]-[管理者設定]-[ユーザの管理]-[プロフィール]を選択し、作成したページを有効化したいプロフィールをクリックします。

プロフィールページの「有効なVisualforceページ」、「有効なApexクラス」の[編集]より、有効化したいページとクラスを選択し、[保存]します。

The screenshot shows the Salesforce administrator interface. The top navigation bar includes: ホーム, Chatter, キャンペーン, リード, 取引先, 取引先責任者, 商談, 売上予測, 契約, 注文, ケース, ソリューション, 商品, レポート, ダッシュボード. The main content area is titled "プロフィール 標準 Platform ユーザ". Below this, there is a section for "有効な Visualforce ページ" (Enabled Visualforce Pages) with a red box around the "編集" (Edit) button. A red arrow points from this button to the right-hand pane. The right-hand pane is titled "Visualforce ページのアクセスを有効化" (Enable Access to Visualforce Pages) and contains two columns: "利用可能な Visualforce ページ" (Available Visualforce Pages) with "account\_webseminar\_sve" listed, and "有効化された Visualforce ページ" (Enabled Visualforce Pages) which is currently empty. Between the columns are "追加" (Add) and "削除" (Remove) buttons. The left sidebar shows the navigation menu with "ユーザの管理" (User Management) expanded, and "プロフィール" (Profiles) selected.

## 6. デプロイ後のSalesforceの設定（標準ボタンの上書き）

作成したページを[申請]オブジェクトの[新規]ボタンをクリックした際に表示されるように設定します。Salesforceのユーザメニューより、[設定]-[アプリケーションの設定]-[作成]-[オブジェクト]-[申請]-[ボタン、リンク、およびアクション]を選択し、ボタン一覧の「新規」のアクション項目の[編集]をクリックします。遷移先の画面の[上書き手段]より、「Visualforceページ」を選択し、該当のページを選択して[保存]をクリックします。設定はこれで完了です。Salesforceの[申請]タブより[新規]ボタンをクリックした際に、設定したページが実際に表示されるかをご確認ください。同様に、[参照]ボタンには作成した参照画面の[Visualforceページ]を設定します。

The screenshot shows the Salesforce 'Buttons, Links, and Actions' configuration page for the 'Sales' object. A red box highlights the 'Edit' link for the 'New' action. A red arrow points from this link to the 'Override' dropdown menu in the 'Override' field, which is currently set to 'Visualforce Page'. The dropdown menu shows a list of pages, with 'workflow\_equipment [workflow\_equipment]' selected. The 'Save' button is visible at the bottom of the configuration form.

アクション	表示ラベル	名前	説明	種別	内容
編集	コピー	Clone		標準	
編集	リスト	List		標準	
編集	引き受ける	Accept		標準	
編集	削除	Delete		標準	
編集	参照	View		標準	
編集	新規	New		標準	
編集	新規見種作成	Quote_new	リストボタン	URL	
編集	販売見種タブ	Tab		標準	
編集		Edit		標準	

1. 本日の完成イメージ

2. 見積作成画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

# 作成した画面にデータを入力しよう

ホーム Chatter リード 取引先 取引先責任者 商談検索 商談 **販売見積** 申請 レポート ダッシュボード +

## 販売見積 製品Aに関する御見積

### 販売見積の編集

キャンセル 保存

#### ▼ 基本情報

販売見積名 製品Aに関する御見積 状況 ドラフト 見積番号 TQ-0001  
見積日 [ 2014/09/13 ] クローズ理由 --なし-- 商談名 テラスカイ-アイリス

#### ▼ 顧客情報

取引先名 株式会社テラスカイ 取引先責任者名  
見積先住所(都道府県) 東京都 電話 00  
見積先住所(市区群) 中央区 Fax 00  
見積先住所(町名番地) 八重洲1-6-6 メール

計算式を設定している個所は  
ダイナミックに計算されます。

#### ▼ 見積情報

小計 300,000 消費税等 23,200  
割引 10000 合計金額 313,200

見積条件 見積明細

行追加 コピー 1/1 10 件数:3

明細順	No.	商品名	商品コード	販売単価	数量	単位	販売金額	原価	原価金額	在庫	粗利額	粗利率
<input type="checkbox"/>		製品A	P-1000	¥100,000	3	台	300,000	¥50,000	150,000	50	150,000	0.5
<input type="checkbox"/>		行削除										
<input type="checkbox"/>		行削除										
<input type="checkbox"/>		行削除										

ルックアップ項目を取得時に関連するマスタの項目を同時に取得します。

ホーム Chatter リード 取引先 取引先責任者 商談検索 商談 **販売見積** 申請 レポート ダッシュボード +

販売見積  
製品Aに関する御見積

フィードを非表示

投稿 ファイル 新規ToDo さらに表示

@山田 太郎さん、A社への見積です。ご承認お願いいたします。

投稿先この販売見積 共有

フォローする  
フォローされている  
フォローされている人はいません。

更新はありません。

**販売見積** [編集] [削除]

▼ 基本情報

販売見積名	製品Aに関する御見積	状況	ドラフト
見積日	2014/09/16	クローズ理由	

▼ 顧客情報

取引先名	株式会社エラスカイ	取引先責任者名	
見積先住所(都道府県)	東京都	電話	03-5255-3410
見積先住所(市区群)	中央区	Fax	03-5255-5130
見積先住所(町名番地)	八重洲1-6-6	メール	

▼ 見積情報

小計	¥300,000	消費税等	¥23,200
割引	¥10,000	合計金額	¥313,200

見積条件 見積明細

1/1 10 件数:1

明細順	No.	商品名	商品コード	販売単価	数量	単位	販売金額	原価	原価金額	在庫	租利率	租利率
	1	製品A	P-1000	¥100,000	3	台	¥300,000	¥50,000	¥150,000	50	¥150,000	50%

[編集] [削除]

**承認履歴** [承認申請]

表示するレコードはありません

メモ & 添付ファイル [新規メモ] [ファイル添付]

表示するレコードはありません

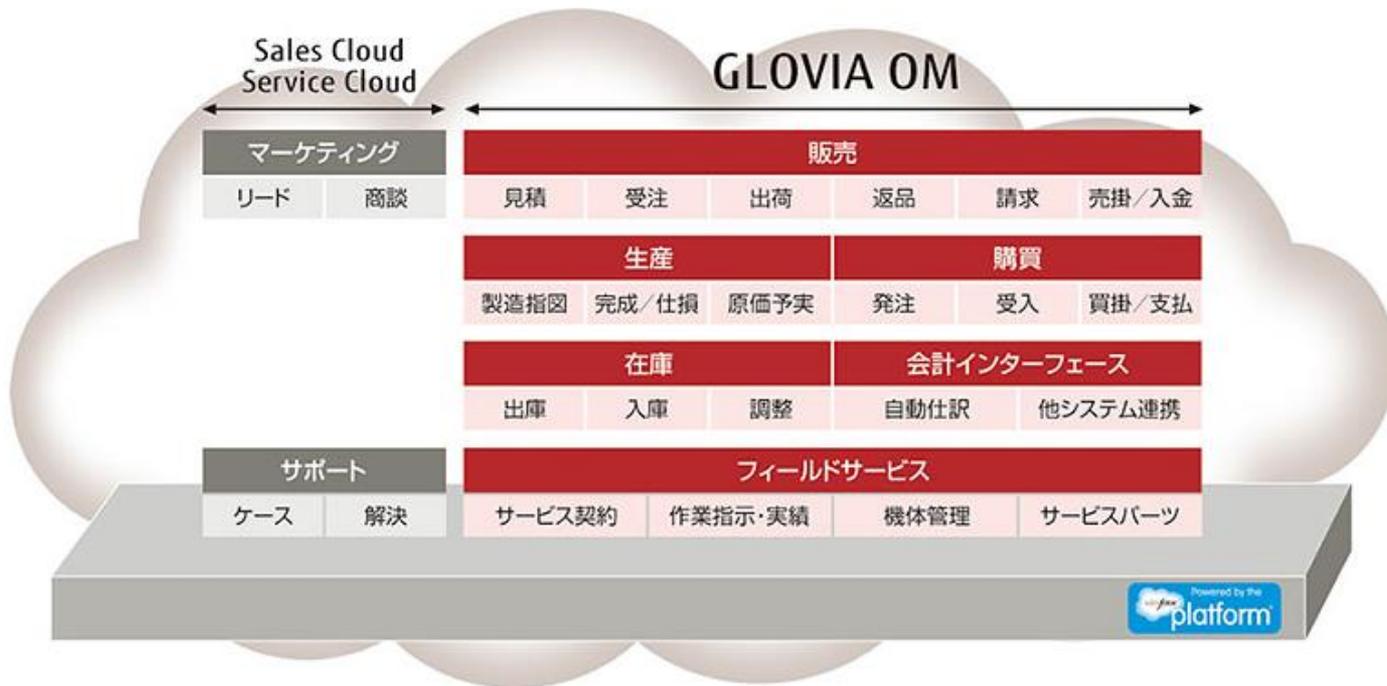
Chatterフィードを表示されます。

Salesforce標準の承認機能を使うことができます。

# [参考] クラウド型ERPソリューション「GLOVIA OM」について

GLOVIA OMは、Salesforce CRM（顧客・商談管理）に、販売・在庫・購買・生産・フィールドサービスなどの基幹系業務機能を拡張するアプリケーションです。

今回のテーマである、見積機能はもちろん、営業業務全般の統合的な管理に優れたサービスです。もちろん、GLOVIA OMとSkyVisualEditorを組み合わせご利用いただけます。



※ 詳細については以下をご覧ください。

(<http://www.terraskey.co.jp/clouderp/gloviaom.php>)

## お役立ち情報

---

- ・セミナー/イベント情報
- ・サポート窓口

## SkyVisualEditorの事例や製品について知る

- **10月22日（水） 16:00-17:00 「SkyVisualEditor定例セミナー」**  
<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/1022-001.php>

## SkyVisualEditorを体験する、学習する

- **10月10日（金） 15:00-17:00 「SkyVisualEditor体験セミナー」**  
<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/1010-001.php>  
実際にSkyVisualEditorを操作しながら、画面開発を体験できるセミナーです。
- **SkyVisualEditor標準トレーニング**  
SkyVisualEditorの基本的な機能を網羅したプライベート研修です。  
こちらを受講いただければ、SkyVisualEditorの基礎を十分にご理解いただけます。

## SkyVisualEditorの機能/設定に関するお問合せ

SkyVisualEditorのご契約者様は、以下の専用問合せページよりお問合せいただけます。  
SkyVisualEditorの標準の機能/設定に関するお問合せは無償です。  
また、別途、有償サポートのプランも用意しております。詳しくは以下問合せE-Mailよりお問合せください。

契約者様専用問合せページ：<https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>

## SkyVisualEditorのご導入に関するお問合せ

SkyVisualEditorに関するお問合せは以下お問合せフォームおよびメールアドレス、お電話番号にて受け付けています。お気軽にお問合せください。

問合せフォーム：<https://www.terrasky.co.jp/contact/support/index.php>

問合せE-Mail：[product.sales@terrasky.co.jp](mailto:product.sales@terrasky.co.jp)

問合せTEL：**03-5255-3411**

## 第6回 基本編 「使いやすいルックアップ検索画面を作成しよう」

**10月21日（火） 15:30-16:00**

<http://www.terraskey.co.jp/event/2014/1021-001.php>

第6回は、第5回で作成した見積作成の画面から商品マスタを検索し、複数の商品を一括で登録する手順をご紹介します。Salesforce標準のルックアップ検索画面をSkyVisualEditorによって、使いやすい検索画面を作成します。

## 第7回 基本編 「Force.com Sitesに資料請求フォームを作成しよう」

**11月開催予定。**

第7回は、外部ウェブサイトなどに公開する際に利用するForce.com Sites上に、SkyVisualEditorで資料請求フォームを作成する手順をご紹介します。